



神戸でのPoC実証で描く ヘルスケアデータ利活用の未来

開催日時

申込

2023. **3.14** (火)

締切

16:30-17:35

2023. **3.13** (月)



— オンライン開催・参加無料 —

<https://forms.gle/HfkpJGQhL8fAxzYX9>

今回の狙い

今回のシンポジウムでは、今年度、当協議会の「ヘルスケアアプリケーション実験工房」（裏面参照）に採択された3テーマをご紹介しますとともに、これらの目指すヘルスケアデータの利活用の将来像について皆様と一緒に考えてみたいと思います。

プログラム

〈司会〉（公財）神戸医療産業都市推進機構 千田 修治

16:30-16:40

神戸リサーチコンプレックス協議会の紹介

神戸市 医療産業都市部 科学技術担当部長 西川 尚斗

神戸市における健康増進DXの新たな取り組みについて

ミツフジ株式会社 代表取締役社長 三寺 歩

健康トークンを利用した自律分散型ウェルビーイング社会の構築

16:40-17:15
(各社10分程度)

サントリーグローバルイノベーションセンター株式会社
特任上席研究員 水谷 治央

しあわせの村健康倶楽部の活動とアプリ開発

公益財団法人 こうべ市民福祉振興協会 会長 三木 孝

ディスカッション

17:15-17:30

兵庫県立大学大学院 情報科学研究科 教授 竹村匡正
(ファシリテーター：(公財)神戸医療産業都市推進機構 小林 洋)

17:30-17:35

クローズドセッション・閉会

神戸リサーチコンプレックス協議会

本協議会は、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）による支援を受け「個別健康の最大化」を目指した「健康“生き活き”羅針盤リサーチコンプレックス推進プログラム」を継承する組織として設立されました。協議会では、「健康関数」「ヘルスケアデータHUB」事業をコア事業に据えてヘルスケア産業を振興し、またコア事業を下支えする「事業化支援」「シーズ創出」「人材育成」といったプラットフォームを発展させるなど、ヘルスケアのエコシステムの創出へ向けた取組みを行っています。

ヘルスケアアプリケーション実験工房

ヘルスケアアプリケーション実験工房は、協議会のコア事業である「健康関数」や「ヘルスケアデータHUB」の社会実装やヘルスケア分野での新たなイノベーションの創出を促進することを目的とした取組みです。コア事業に関連する課題等に対し、協議会会員機関が、自らが持つアプリケーションやサービス、技術、製品などを用いて検証実験を行う場合に、協議会として支援を行っています。検証試験の内容などについての相談のほか、採択案件に対し補助金（最大100万円）の交付も実施しています。



公式FACEBOOK



公式ホームページ

